

「マンガで知ろう！通りの復権と歩いて楽しいまち」

読書感想文コンクール 最優秀賞候補作品

※各部ともに最優秀賞1名、優秀賞3名、五十音順)

【小学校1・2年の部】

最優秀賞 ほうちじてん車はだめ！

高倉小学校 木村 紗友利さん

どうがを見てわたしは、これら「ほうちじてん車」と「ろ上ちゅう車」がとてもだめだと思います。どうしてかという、ほうちじてん車が目のみえない人や、おとしよりの人や学校の人に、とてもめいわくだと思います。ろ上ちゅう車もおなじです。

わたしは、どうがを見て、とび出しを気をつけたいと思います。

おとうさんは、いつもスピードいはんに気をつけてうんてんしています。これからもまもりたいです。

わたしは、じてん車にのっているので、いったんていしするのもまもりたいです。

優秀賞 みんなのちいきのたくさんのルール

高倉小学校 稲富 沙世さん

みんなのちいきには、しんごうをまもる、車はスピードをだしすぎない、自てん車は6才こえたら2人のりはだめ、などというたくさんのルールがあることに気づいた。

これからも「みんなのちいきのたくさんのルール」をまもろうと思います。

優秀賞 わたしが思ったこと

高倉小学校 谷川 芽衣さん

わたしが気をつけようと思ったことは、ほうちじてん車をしないことです。どうがを見て、いったんていしをしなくてはいけないことがわかりました。

いつも気をつけていることは、学校のかえりみちに、車がとまっていたら、右、左、前、後ろをよく見てわたることです。

もし、おうちの人がろ上ちゅう車をしていたら、ちゅういしてあげようと思いました。

優秀賞 あぶないとび出し

御所南小学校 堀部 成美さん

わたしは、どうろへとび出したら、あぶないと思います。

なぜなら、もしも白いつえをもっている人が歩いていて、きゅうに自てん車や車がとび出してきたらあぶないし、びっくりするからです。

とび出しをしている人は、いそいでいたりするからとび出してしまうけれど、車にのっている人には、とってもめいわくです。いくらいそいでいても、あぶないしめいわくで、あるいている人や自てん車にのっている人の気もちを考えないとだめです。

わたしもあるいている人があんぜんであんしんでいられるように、自てん車をこぎたいと思います。